

『傷つける』 作：ポチ子

あなたにも必ず才能がある。

出来ることを伸ばそう。

彼らはそう言う。

私が本当に何も出来なくて、

何の才能も無い奴だって分かったら、

生きててもいいって、

もう言ってもらえなくなるだろうか。

彼らもきつと思っている。

私と同じようなことを思っている。

何もできない奴は、

生きてる資格がないって。

でも何もできない奴なんてこの世にいないでしょ？

そんなよく分からない謎理論を持っているから、

それに気がついていないのだ。

彼らは私を傷つける。

私が私を傷つけるように。

彼らも私に生きててほしいなんて思わない。

それに気がつくまでに、

もう少し時間があるってだけで。